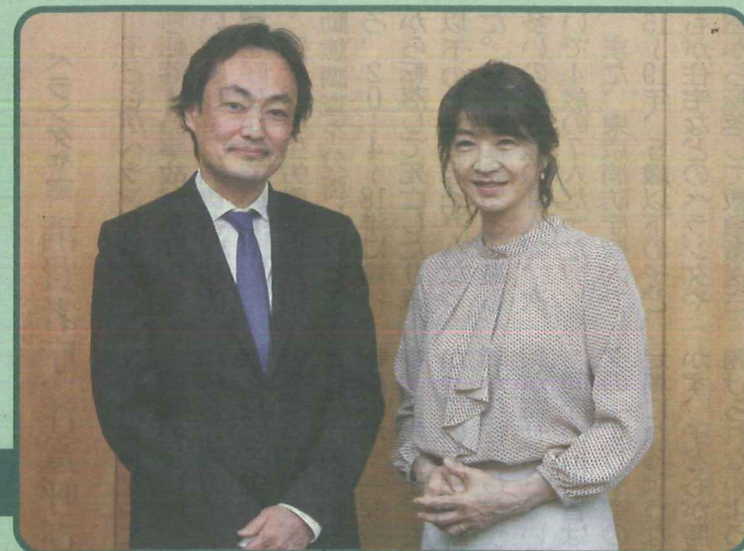


広告 企画・制作 読売新聞社広告局

正しい知識を身につけて、治療の選択肢を広げましょう

進化した白内障治療

対談 六本木柴眼科 院長 柴 琢也先生 × 女優 田中 美佐子さん



「視覚」は人間の五感の中でも重要な働きをしています。「人生100年時代」と言われ、年齢を重ねても活力ある後半生を築いていくためには、いつまでも健やかな視覚を保てるように目の加齢対策も大切です。加齢によって引き起こされる目の代表的な病気が白内障。60歳以上から急速に増加し、70歳以上のほとんどの高齢者に症状が出ているそうです。そこで白内障の疾患や治療法における正しい知識と理解について、女優の田中美佐子さんが専門医である六本木柴眼科の柴琢也先生に伺いました。

白内障は加齢症状のひとつ 誰にでも発症しうる疾患

田中 「人生100年時代」と言われていますよね。歳をとってもアクティブに過ごすために目は一番大事な機能だと思っています。老眼が始まってしまいました。父も40歳で始まったので遺伝なのだろうと、そして父は白内障の症状はなかったのですが私にもならないのでは、と思っているのですが…。

柴 実は白内障は、加齢によっていずれ誰でもなるものなのです。目の寿命と体の寿命の関係で、昔は寿命が今ほど長くなかったので、白内障になる前に老眼になりになる方も多かったのです。田中 それなら、私もなるかもしれないですね。どんな症状が出たら、白内障を疑って眼科に行くべきなのでしょう。

柴 60歳を過ぎて、今までよく見えていたものが見づらくなったり、受診をおすすめします。眼鏡をつくっても半年ぐらいですぐに合わなくなってしまう、というのにも要注意です。それから片目だけ悪くなる方もいて、普段は両目でものを見ているので気づきにくいんですね。ですから時々片目で見えてチェックをするとういことだと思います。

白内障を引き起こす原因は 水晶体の濁り

田中 どうして加齢によって白内障になるのでしょうか。

柴 瞳のすぐ後ろに水晶体というレンズがあります。水晶体の周りをぐるりと囲んでいる毛様体筋というものの働きによって厚みを変え、ピントを調節しています。近くを見るときは水晶体が厚くなり、遠くを見るときは薄くなります。しかし加齢にともなうその機能が衰えてくると、焦点が合いづらくなっていく。まずこれが皆さんよくご存知の老眼です。

田中 体の筋肉と同じように、目の筋力が衰えていくようなものですか。

柴 その通りです。そして本来は透明なのですが、加齢などが原因で水晶体内部のたんぱく質が濁ってしまうことがあります。水晶体が濁り、見え方に影響が出てきたものを白内障といいます。

田中 私の同世代の友人が、最近テレビや蛍光灯の光がまぶしく感じると、白内障かもしれないと言っています。

柴 そうですね。水晶体の濁り方もパターンがあって、まだらに濁ると光が散乱してまぶしく感じるので、でも全体が均一に濁ると、光が入ってこないの逆で、暗く感じます。症状が様々なのです。

眼内レンズを 白内障は治療

田中 白内障とわかった場合、どんな治療法があるのですか。

柴 目の水晶体は、一度濁るとの透明な状態に戻ることはできません。そのため濁った水晶体を取り除いて、人工水晶体で眼内レンズを挿入する外科手術が行われます。

田中 目の手術は、どうしてイメージがあります。他の手は目を閉じて寝ている間に終わってしまうけど、目の場合、開いていなくてはならないですね。

柴 手術では局所麻酔(目薬)を用いるので痛みはほとんどありません。顕微鏡の明かりがつかすから「万華鏡を見ているよ」と感じました」と話す方もいます。昔は黒目のふちに沿ってぐさぐさと切開していましたが、今は

眼における水晶体の働き

人間の水晶体には、厚さを自動的に変えることで見るものに焦点を合わせる機能があります。近くを見る時は水晶体が厚くなり、遠くを見る時は薄くなります。この水晶体の厚くなったたりする力は加齢と共に低下します。



柴 琢也先生

六本木柴眼科院長。医学博士。日本眼科学会認定専門医。日本白内障屈折矯正手術学会理事。白内障手術に関しては国内のみならず海外からも学術講演や手術指導の招聘を受ける。東京慈恵会医科大学眼科准教授を経て、2019年に開院。

田中 美佐子さん

女優。1981年、ドラマ「想い出づくり」(TBSテレビ)でデビュー。以後、数多くのドラマ、映画、舞台に出演。代表作に、「十年愛」(TBSテレビ)、「セカンド・チャンス」(TBSテレビ)、「OUT〜妻たちの犯罪」(フジテレビ)、「14才の母」(日本テレビ)など。





眼内レンズを挿入することで 白内障は治療可能に

田中 白内障とわかった場合、どんな治療法があるのですか。
柴 目の水晶体は、一度濁るともとの透明な状態に戻ることはありません。そのため濁った水晶体を取り除いて、人工水晶体である眼内レンズを挿入する外科手術が行われます。

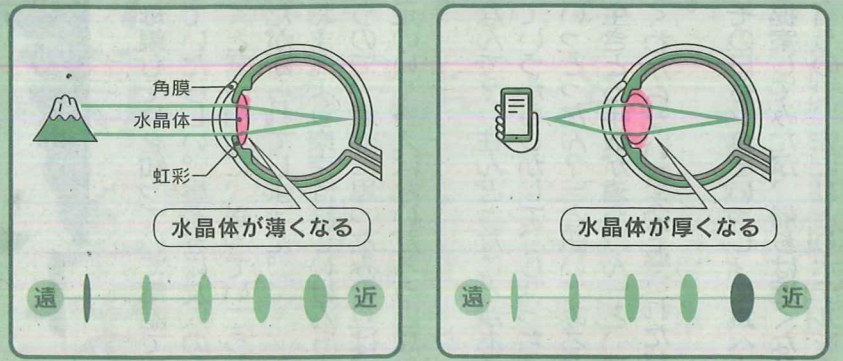
田中 目の手術は、どうしても怖いイメージがあります。他の手術は目を閉じて寝ている間に終わってしまうけれど、目の場合、開けていなくてはならないですね。
柴 手術では局所麻酔(目薬)を用いるので痛みはほとんどありません。顕微鏡の明かりがつかますから「万華鏡を見ているような感じでした」と話す方もいます。昔は黒目のふちに沿ってぐるりと切開していましたが、今は2〜3mmほどで済みます。

田中 たった2mmでいいのですか。
柴 だから手術後は自然に閉じていき、縫う必要もないのです。切開した部分から細い器具を入れて水晶体を超音波で碎き、吸引して取り除きます。眼内レンズはやわらかいので、くるくる丸めてストロー状の管で目の中に入れて広げます。一度手術をすれば、レンズを入れ替える必要はほとんどありません。

田中 何だか手術のイメージがかなり変わって、怖い気持ちが消えてきました(笑)。
柴 実際にお受けになった方は、「これだったらもっと早く受ければよかった」とおっしゃる方が多いです。

眼における水晶体の動き

人間の水晶体には、厚さを自動的に変えることで見るものに焦点を合わせる機能があります。近くを見る時は水晶体が厚くなり、遠くを見る時は薄くなります。この水晶体の厚くなったりする力は加齢と共に低下します。



比べてわかる! レンズの違い



単焦点レンズ 手元のスマートフォンと机の上のパソコンを見るためには眼鏡が必要です。(遠くに焦点をあわせた場合)

2焦点レンズ 手元のスマートフォンと奥のテレビを見る分にはほとんど眼鏡は使わずに済みます。(近くと遠くに焦点をあわせた場合)

3焦点自然視覚レンズ 手元のスマートフォンと奥のテレビ、さらにその間にあるパソコンもほとんど眼鏡を使わずに見ることができます。

※写真はシミュレーションイメージです。術後の見え方には個人差があります。
 ※2焦点レンズや3焦点レンズは、2つ、もしくは3つの焦点距離にあるものを同時にクリアに見られますが、単焦点レンズほどクリアな視界が得られないことがあります。また、時に、強い光をまぶしく感じる場合があります。
 ※焦点が合っているところでも、場合によっては眼鏡が必要なことがあります。

眼内レンズには 複数の種類がある

田中 眼内レンズとは、どのようなものなのでしょうか。
柴 眼内レンズの直径は約6mm、支えの部分を含めた全長は13mm前後です。水晶体を包んでいた袋の中に挿入された眼内レンズは、1週間ほどで支えの部分が袋の内部にくっついて固定されます。

田中 レンズを入れると、白内障になる前と同じように見えるのですか。
柴 眼内レンズの種類によって、見え方が異なります。現在、発売されているレンズは、単焦点レンズ、2焦点レンズ、3焦点レンズに分けられます。

田中 どう違うのですか。
柴 単焦点は、近いところ、中間、遠方のいずれか1か所のみピントが合うレンズです。焦点が合わない距離はよく見えづらく、眼鏡をかける必要があります。2焦点レンズは、近いところと遠方、中間と遠方など、2か所にピントが合います。3焦点レンズは、近いところ、中間、遠方の3か所にピントが合います。特に3焦点レンズは老眼になる前の自然な見え方に近いことから3焦点自然視覚レンズと呼ばれます。おおよそどの距離も見やすく、眼鏡をかけずに済むと思います。ただ、焦点が合っていないところでも場合によっては眼鏡が必要となることもあります。

田中 それを選ぶべきか、悩ましいですね。
柴 単焦点レンズは、見たい距離のものをしっかり見たい、ほかの距離は眼鏡をかければよいという方向に向いています。多焦点レンズは、眼鏡をかけるわずらわしさから出来るだけ解放されたい方向に向いています。

田中 費用の違いはありますか。
柴 単焦点レンズは保険適用です。多焦点レンズは保険適用外ですので、医療機関によって費用が異なっています。

田中 費用のことも含めて、自分にとって最適なものを選ぶ必要はないですか。
柴 少くも症状があれば、まず眼科を受診していただきたいです。そして白内障で手術をするなら、専門医に相談しながら、ライフスタイルにあった眼内レンズを選んでいただければと思います。

田中 お話を伺って、白内障や眼内レンズへの理解が深まりました。目の手術への怖さもなくなりました。本日はありがとうございました。

柴 眼科の手術としては一番多く、年間約150万件も行われています。

田中 そんなに多いのですか。人生100年時代には、誰もが通る道になりそうですね。私星が大好きで、この間も石垣島で星を見るツアーに家族で参加したのです。でも娘に「お母さん、あそこには衛星があるよ」と言われても、なかなか見えないときがあつて、そういうことが残念で仕方なくて。目は生活の質を維持する上でも、本当に大事だと改めて実感しています。



白内障の情報はこちら
わかる! 白内障

検索

